

地域協議会だより

Vol. 1 3 (2016年3月3日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会
長野市大字南長野字宮東 452-1
長野県土地改良会館別館 3階
会長 秦 久昭



Y 弥生 三月 春分の候！

暑さ寒さも彼岸までの言葉どおり、日に日に春の訪れを実感するようになりました。皆様におかれましては、本年度の活動実績をまとめ、来年度計画を総会で提案されていることと思います。1年間の活動、本当にご苦労さまでした。農業農村の持続的発展、農地や農業用水の適切な保全管理のため、来年度もよろしくお願いします。



さて、今回の「地域協議会だより」は、主に2月に開催した「第三者委員会」、「市町村担当者研修会」のほか、施設の長寿命化の取組事例、県・農地整備課が設置した「農業水利施設等保全管理会議」などについてお知らせします。

Y 長野県多面的機能支払事業検討委員会（第三者委員会）の設置

長野県では、事業の実施状況の点検等を目的として、「長野県多面的機能支払事業検討委員会」を設置し、去る2月8日、松本合同庁舎会議室で、第1回目の委員会が開催されました。

● 委員会の業務

1. 実施状況の点検：県から実施状況の報告を受け、助言等を行う。
2. 対象活動組織の取組の評価及び助言：3年目（H28）に中間評価、5年目（H30）に最終評価を行う。
3. その他：県及び推進組織が行う活動組織への推進・指導等を評価し助言等を行う。

● 委員会のメンバー

所属・職	氏名	備考
公益財団法人 生坂村農業公社 理事長	岩間 陽子	会長
信州大学 農学部 助教	内川 義行	職務代理
伊那市 春富土地改良区 理事長	織井 秀夫	委員
長野大学 環境ツーリズム学部 准教授	熊谷 圭介	〃
松本大学 基礎教育センター 講師	福嶋 紀子	〃
長野県 女性農業委員の会 会長	古沢 明子	〃



2/8 第三者委員会で挨拶する岩間委員長



※今後、評価項目の検討や活動組織への調査等を経て、H29年1月までに中間評価書を策定予定。



県下4会場で、市町村担当者研修会を開催しました

本年度より交付金の交付ルートが変わり、市町村の責務が増大しています。11月に実施した活動組織の事務研修会（H26,27 新規組織対象）でも、身近な市町村からの丁寧な指導を望む声が多く聞かれました。このため、当初予定にはなかった市町村担当者研修会を、下記のとおり開催しました。

回	月日	会場	出席者数				備考
			市町村	地事	県庁他	計	
1	2月4日(木)	佐久市 佐久合同庁舎404会議室	17	4	5	26	欠席1
2	2月5日(金)	長野市 土地改良会館4階大会議室	24	2	6	32	
3	2月9日(火)	松本市 梓川保健センター2階大会議室	21	4	5	30	欠席1
4	2月10日(水)	伊那市 創造館3階講堂	45	5	5	55	
	計		107	15	21	143	



● 研修会の内容〔講師〕

1. 事業実施の留意事項 [県庁 農政部 農地整備課 基盤整備係 青柳補佐]

- ・会計検査、H28年度予算、安全管理の徹底、活動組織の指導、多面的機能支払Q&A等

2. 「活動の手引き(案)」

- ・活動計画書作成の留意点 [長野県土地改良事業団体連合会 本部事業課 武田課長補佐]
- ・実施状況報告書、実績報告書、地域資源保全管理構想の作成 [県庁 基盤整備係 小坂橋技師]
- ・長寿命化活動における留意点 [長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会 坂田指導員]
- ・事務軽減の方法 [多面的協議会 赤羽事務局長]



2/4(木) 佐久市 佐久合同庁舎



2/5(金) 長野市 土地改良会館



2/9(火) 松本市 梓川保健センター



2/10(水) 伊那市 創造館

ちょっと一息 (*_*)

出張先で昼飯に食べました！これが出張の楽しみです。



佐久市 安養寺みそラーメン・むしり



長野市 おぶっこ・おやき



松本市 山賊焼き

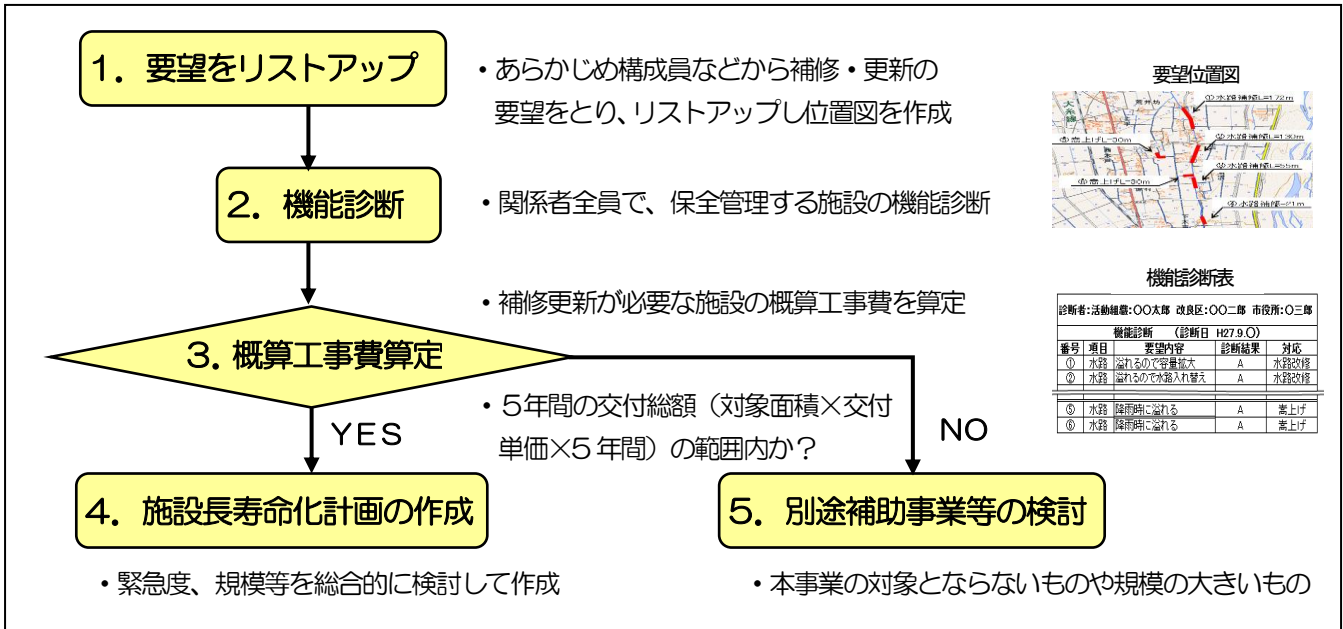


伊那市 ローメン

施設の長寿命化への取り組み

◆施設の長寿命化のための活動は、施設の劣化状況などを踏まえ、計画的に補修・更新等を実施するものであるため、あらかじめ機能診断を行い、5年間で実施する内容を決め、「施設の長寿命化計画」を作成しておくが良いです。

●長寿命化計画の作成手順



●関係者全員で機能診断計画策定した事例〔大町市 清水地域資源保全会〕

突撃レポート

平成27年9月、大町市の高瀬川右岸土地改良区(理事長:降旗豊美氏)を訪ね、職員の白鳥さん他、関係者の皆さんから、清水地域資源保全会(会長:勝野善文氏)[A=256ha(田 240ha、畑 16ha)での施設の長寿命化の取組を伺いました。

本地区は、県営かんがい排水事業高瀬川右岸地区(昭和38年~51年)の受益地で、県営ほ場整備事業常盤西地区他(昭和62年~平成7年)で整備された道水路が老朽化してきたことから、本事業に平成26年度から取組んでいます。

実施に当っては、清水地域資源保全会のメンバーに加え、施設の所有者である大町市と高瀬川右岸土地改良区のほか、北安曇地方事務所農地整備課・水土里ネット長野(長土連)の専門家も参加して、機能診断を行い、5年間の長寿命化計画(総額約5,500万円)をたてました。〔オーバー分は、別途補助事業を検討。〕

土地改良区では、これまで、限られた予算の中で滞っていた水路等の補修・更新が本事業で促進されるとともに、保全会では、専門的な工事発注等の事務や現場管理を土地改良区へ、設計を専門の長土連へ委託することで、事務の軽減と適正な施設設計が行われていました。また、施設完成後、市・土地改良区への財産譲与に必要となる図面や台帳が整備され、施設の財産管理が適正に実施されており、

関係者(保全会、土地改良区、市、県、長土連)が一体となった長寿命化への取組体制となっていました。



保全会、改良区、市、県、長土連による機能診断

Y 県・農地整備課からのお知らせ

● 農業水利施設等保全管理会議の設立

県では、農業水利施設等の適時適切な保全管理を推進することを目的に、2月9日、「長野県農業水利施設等保全管理会議」を設立（地方事務所単位に地域部会を設置）しました。今後、関係者が連携し、水利施設等の実態把握や、インフラ長寿命化計画の策定などを行います。

◆ 会議の概要

1. 日時：平成28年2月9日（火）午後2時から4時まで
2. 場所：長野県土地改良会館4階大会議室（長野市大字南長野字県町452-1）
3. 構成員：長野県、市町村、土地改良区、長野県土地改良事業団体連合会など
4. 参加団体数：182団体（市町村77、土地改良区103、県、土地改良事業団体連合会）
5. 主な業務：
 - （1）施設の維持管理・更新等の進捗状況の確認、実態把握
 - （2）インフラ長寿命化計画の策定支援
 - （3）更新等に必要な工法・基準等の技術検討、研修会の開催など



2/9 会場一杯の参加者

◆ 平成28年度の活動予定

〔県・市町村・土地改良区〕

- ・「県及び市町村土地改良施設インフラ長寿命化計画」の策定

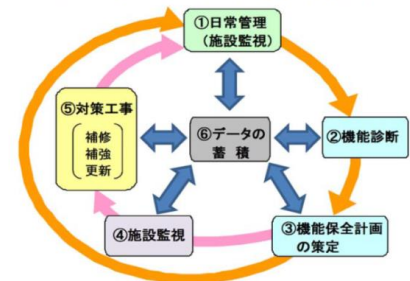
〔全体会議〕

- ・土地改良施設等に関する維持管理・保全対策に関する研修の開催
- ・施設台帳や施設管理図等に関する研修の開催 など

〔地域部会〕

- ・行動計画及び個別施設計画の策定に関する支援
- ・土地改良施設の管理・操作・日常点検等に関する現地研修 など

図 ストックマネジメントサイクルの概念図



ストックマネジメントサイクルとは？

施設の点検・診断に基づく機能保全対策の実施によって、施設を有効に活用し、長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るための技術体系及び管理手法の循環の総称

Y 事務局から

本年度は、新しい協議会になって10月から6回「協議会だより」を発行することができました。

今後とも、活動組織・市町村の皆様のお役に立てるような情報の掲載に務めてまいります。

来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

■ 問い合わせ先

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

（担当：赤羽・小田切）

TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352

Eメール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp

URL <http://www.nagano-nouchimi.zu.net/>

